

B-37 エリザベス朝の女性の衣服（一）

大阪市立大 林田喜美子

1. エリザベス朝の時代の女性は非常に精巧な衣服を着用した。エリザベス朝とは大体1533—1603年まででエリザベス一世の治世の時代を指し、シェクスピヤやベンジョンソン等の文人が多数活躍した英国の華やかな時代で、女王は衣服デザインの感覚がすぐれ、この時代の服装に関して指導的立場に立っていたといわれる。この時代の女性の衣服を研究して現代にとって参考とすべき点を吸収したいと考える。

2. 数多くの西洋服装史の書籍及び博物館等の展示物の紹介等の中に資料を求め、殊に Costume of the Western World の中の Fashions of the Renaissance (James Laver) や The Elizabethan Woman (Carroll Camden) 等が非常に参考になった。

3. 生活水準の向上に伴い衣生活が豪華になって行く傾向にある現代にとって、エリザベス朝の女性の衣服の精巧さは、被服デザインや被服工作の上に示唆を与えられることが多く、この時代の被服文化の水準の高さに強く感銘を受けた。